



吹田西ロータリークラブ

国際ロータリー第2660地区

ウィークリー 2019-2020



創立 1980.6.12
 事務所 〒564-0051 吹田市豊津町9番40号 カリーノ江坂1階 TEL06-6338-0832 FAX06-6338-0020
 URL <http://www.suita-west-rc.org> E-mail src@jasmine.ocn.ne.jp
 例会場 新大阪江坂東急REIホテル TEL06-6338-0109 例会日 毎月曜日 18:00~19:00
 会長：橋本徹也 幹事：堀 豊 会報委員長：榎原一滋

4つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会

第1759回例会 令和2年2月3日
 今週の歌 「君が代」「奉仕の理想」
 卓話 「『主食イノベーション』で
 世界を変える！」
 ベースフード代表取締役 橋本 舜氏

前回の記録

次回の例会

第1760回例会 令和2年2月17日
 今週の歌 「スキー」
 卓話 「ハンガーゼロ
 今、この時代！世界の子供たち」
 ハンガーゼロ
 (一般社団法人 日本国債飢餓対策機構)
 総主事(海外事業部担当) 近藤 高史氏

会長挨拶 橋本(徹)会長



昨日、私たちがお世話になっている、木瀬部屋の徳勝龍が優勝いたしました。そして、ケガから復帰した宇良も序二段で優勝されています。3月の大阪場所では、マスコミ、相撲ファンが江坂に押し寄せてくると思いますが、青少年の事業と例会に来ていただけるように、紙谷さんよろしくお願いたします。

何度も言いますが、1月は職業奉仕月間です。ガバナ月信1月号の四宮ガバナーの文章から引用させていただきますと、「ロータリーの目的」の第2項が職業奉仕の土台としており、この項でロータリアンは、

- 職業上の高い倫理基準
- 役立つ仕事は、総て価値あるものという認識
- 社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものとする

を奨励し育む事が求められています。

ロータリーでは、その高い倫理観と高潔性を具体的に表しているのが、今、歌いました。「4つのテスト」です。言行は、これにてらしてから、となります。

そして、本年度の第2660地区の山崎職業奉仕委員長は、ロータリーの根幹である職業奉仕を理解するためには、1905年にシカゴにおいてポール・ハリス他4名によってスタートしたその経緯、特に発足当時の考え方を学ぶことが大事であるといわれています。いろんな角度から、職業奉仕を考えていきましょう。

そして、私たち、吹田西ロータリークラブは、40年前、1980年34名の会員で創設されました。その翌年1981年3月14日に認証状伝達式(チャーターナイト)が、大阪港RC(現大阪リバーサイドRC)、箕面中央(現箕面千里中央RC)両クラブと合同で新阪急ホテルにて、大々的に行われました。

その発足時の思いを学ぶことが、今後の私たちが進むべき方向を考えると非常に重要だと思い、両クラブの会長に声がけをさせていただきました。現在各クラブにチャーターメンバーが4名在籍されていることもあり、同じ3月14日(土)に「創立40周年3クラブ合同認証状伝達式記念ランチョン」と銘打って、チャーターメンバーに感謝し、当時のことを学ばせていただく機会をつくらうと提案し、準備を進めています。今後、40周年実行委員会、理事会で承認後、皆様にご案内させていただきます。

1758回例会よりお願い致します。40周年記念式典まで126日です。

ゲスト紹介 親睦活動委員会 山下委員

本日は、IMのPRとして摂津ロータリークラブの望田成彦様、須川拡胤様にお越しいただいております。

幹事報告 堀幹事

1. 本日例会後に理事会があります。
2. 2月17日に第3回古城ガバナー補佐訪問があります。

出席報告 出席委員会 阿部委員長

- 会 員 数 49名 出席会員数 38名
- 来 客 2名 本日の出席率 86.36%
- 1月6日の出席率(メーキャップ含む) 100%

ロータリー財団委員会 木下委員

本日、宮川会員、伊藤会員より特別寄付を頂きました。ご協力ありがとうございました。

40周年実行委員会 紙谷幹事

2月3日19時より、みやびの間で実行委員会を開催しますのでよろしくお願い致します。

青少年奉仕委員会 清水(大)委員長

1. ローターアクト第2回地区献血活動のご案内

回覧致しますので参加可能な方は登録用紙に場所を選択の上ご記入ください。

◇日時 2020年2月16日(日)※雨天決行
集合 9:50 開始 10:00
終了 16:00(予定)

※上記の時間に活動を行っておりますので、ご都合の良い時間帯にご参加下さい。

◇場所 ①イオン大日前 ②京橋駅前
③樟葉駅前 ④梅田HEP前
⑤難波バス停横

◇活動内容 ①400ml献血の実施
②街頭での一般の方への献血の呼びかけ、PR

③RAC活動のPR(アンケートの実施)

◇注意事項 ①献血にご協力願います。(献血はPR時間外でお願いいたします。)

②RC・RACの方は、当日の参加人数を確認いたします。恐れ入りますが、必ず当日の受付登録をお済ませください。

2. 大相撲 千里山グレース幼稚園(グレース場所)のご案内

昨日初場所で木瀬部屋の徳勝龍関が初優勝した嬉しいニュースが飛び込んできました!その良いタイミングで毎年恒例の木瀬部屋さん力士との大相撲のご案内です。

◇日時: 2月27日(木) 9:50~13:00

◇場所: 千里山グレース幼稚園 2階ホール
(吹田市千里山東2-18-43)

詳細案内、回覧は次週から行いますので、皆様ご予定の程宜しくお願い致します。

~~~~~

## グルメ同好会 福原会員

2月21日(金)18時より梅田(詳細後日)にてグルメ同好会を開催しますので、ご参加宜しくお願いします。

~~~~~

ニコニコ箱 村井SAA

- 瀧川会員 徳勝龍が優勝しました。
- 新井会員 徳勝龍優勝お目出度う御座居ます。
- 河邊会員 徳勝龍優勝おめでとうご座居ます。
- 清水(大)会員 徳勝龍関初場所優勝おめでとうございます!グレース場所もよろしくお祈り致します。
- 青木会員 本日の卓話、よろしくお祈り致します。

本日のニコニコ箱	15,000円
累計のニコニコ箱	1,011,000円
累計ニコニコB	13,500円

摂津ロータリークラブ

望田 成彦様・須川 拡胤様

2019~2020年度 国際ロータリー第2660地区IM第2組ROTARY DAY

日時: 3月28日(土) 14:00~17:00

開場: 千里阪急ホテル

主催: 国際ロータリー第2660地区ガバナー
四宮 孝郎

講演: 「より豊かな人生を送るには」
~青少年の未来を考える~
講師/白駒 妃登美(しらこま ひとみ)
多くの方々のご参加お待ちしております。

創立40周年を迎えて その2

チャーターメンバー 梶山 高志 パスト会長



当時は43才だった。若かったなー。

山出社長、瀧川さん、橋本大和銀行江坂支社長、片山池田銀行江坂支社長の勧誘を受けて入会した。

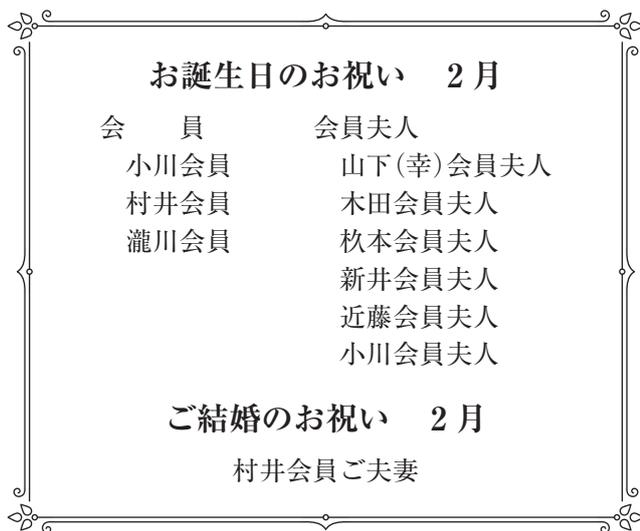
今や創立40周年を迎えた。沢山の仲間が出来た。当時先輩達は若い我々から見ると、個人的にも社会人としても大いに参考とすべきその言動、足跡を残された方々だった。今振り返ってみれば、私のその後の人生に大きく影響を与えた人達であり、時代だった。

記憶に残るのは、江坂企業協議会と合同で吹田警察署へ交通事故処理車輛を寄附した事だった。(平成5年11月4日)

江坂企業協議会は、吹田西RCの有力メンバー達が地域社会に貢献するために参加して設立された地元企業の集まりである。山出元会長を始め、紙谷元会長、瀧川元会長達が設立され、小川元会長、梶山元会長、毛利元会長、阿部会員、橋本現会長、荻田元会長達が

活躍している。RCと一緒に活動し、会員紹介も相互に行っている。RCを中心に地域の取引銀行、江坂周辺企業が友情の輪と和を広めながら、地域社会に貢献出来ることを誇りに思っている。

山出元会長は晩年、国立循環器病センターに入院されながら、山出興産の将来につき経営計画を作られ、私の意見や上場に至る経過を聞かれた。その時に社名変更を発想された。それが現在の「アーキヤマデ」である。



国際奉仕事業 交換留学生について

青木 建雄 会員

◇派遣学生募集要項

(1) 主な交換相手国

アメリカ、カナダ、フランス、フィンランド、ブラジル、オーストラリア、スイス、スウェーデン、台湾、ポーランドなど

(2) 交換期間と募集人数

- ・期間は約1年間
- ・採用及び派遣先は青少年交換委員会において決定します。

募集人数は、5名程度（応募多数の場合は、1次は書類選考、2次は面接、筆記テストなどの選考となります。）

(3) 交換内容

各々の派遣先のご家庭でホームステイをし、現地の高等学校に通学します。現地の言葉を学び、人々と交流し、その文化や習慣、歴史を学ぶと共に、日本の文化や伝統、国情を伝え、青少年大使としての国際理解と親善に努めます。

(4) 費用

プログラム参加費（¥100,000）、派遣先までの往復旅費、保険料、現地での諸雑費は本人（保護者）の負担とします。

現地での生活費、教育費（高校）の全額及び少々の小遣いは、ホストロータリークラブが負担します。

(5) 応募資格

- 1) 出発時、16～18歳の高校生であること。
- 2) 健康で礼儀正しく、水準以上の学力を持ち、外国語の習得に意欲的な学生であること。
学業成績は、学年で上位1/3以内の者。（在学高校により差があるので、相談に応じます。）
- 3) 異文化、異なる環境で1年間過ごすことができる積極性と適応力を備えていること。
- 4) 学校長の推薦と、1年間の派遣先での修学許可が得られる学生であること。
（派遣中における現在の学校での単位取得等に関しましては、各学校とご相談下さい。また、派遣相手国での学校の単位は基本的には取得できません）

(6) 来日学生の受入

原則として、派遣学生を推薦したロータリークラブは、カウンセラーを選出いただき、交換相手国より来日学生を受け入れなければなりません。

また、スポンサークラブは、受け入れ期間中のホームステイ先であるホストファミリーの確保をお願いいたします。

スポンサークラブには地区より年間幾らかの支援金を供給します。（派遣人数・地区予算により変動します。）

2018-2019年度 40万円

2019-2020年度 60万円（予定）

2020-2021年度（予算未定）

(7) 短期交換プログラム

1年間の長期交換のほかに、夏休みなどに数週間ずつ交換する短期交換プログラムもあります。

(8) スポンサークラブへのお願い

「青少年交換要覧」<https://rijyec.org/document/yectebiki.pdf> を参照下さい。また、地区委員会で開催するオリエンテーションに必ず出席下さい。クラブの内外で、来日学生のホームステイ先であるホストファミリーの確保をお願いいたします。

◇ホストファミリー募集要項（長期、短期）

ホストファミリーの対象としては、国際理解の増進にご関心があり、趣旨をご理解いただける、ロータリークラブメンバー、関係者の内外問わず、ご関心のあるご家庭に広く呼びかけています。外国学生をご家庭に受入れ、家族ぐるみで国際交流をしてみようというご希望がございましたら、長期、短期を問わず、地区青少年交換委員会又は地区事務局まで、ご連絡下さい。

とくに、派遣プログラム参加学生が海外でのホームステイを体験する前に、年間又は短期プログラムで来日する外国学生を受入れ、家族ぐるみの国際交流をすることは、確実に参加学生の良い異文化体験につながりますので強くお勧めしています。

ホストファミリーの基準

- (1) 外国学生を受入れようという心をお持ちで、留学生のためにベッド（必ずしも個室でなくてよい）と3度の食事を無償で提供して下さること。
- (2) 留学生に日本の家庭生活を体験させてあげられる条件が整っていること。（両親共働きの家庭でも差し支えない）
- (3) プログラムの趣旨を理解し、受入期間中、留学生・ホストファミリーに対する、青少年交換委員会からの連絡・助言を受入れて下さること。
- (4) ホストファミリー予定者には、事前に、青少年交換委員による家庭訪問・インタビューなどを行わせていただきます。

職業奉仕について

近藤 亘 会員

2019年7月から職業奉仕を担当し8月24日にはクラブ職業奉仕委員長会議が実施され、職業奉仕の歴史や考え方についてレクチャーを受けました。また、歴代の引継ぎ資料をいただき、毎年、職業奉仕の歴史や考え方と行動内容について同様の資料が綴じられており職業奉仕の理解について難しさを感じました。

本日はロータリーの職業奉仕活動を理解する上で四大用語について卓話させていただきます。

ロータリーの樹は、2008年RI国際会議の席で、渡辺RI理事がロータリーを1本の樹に例え、クラブ奉仕は樹に水と栄養を送る根になり、職業奉仕はその上成長する幹になり、枝に実った果実は青少年奉仕、社会奉仕、国際奉仕、米山奨学金、ロータリー財団の奉仕があります。また、根にはクラブ奉仕やロータリーの目的、4つのテスト、超我の奉仕、最もよく奉仕する者、最も多く報いられると言う2つのモットーと幹には職業奉仕と並び奉仕の理想が記され、視覚的にロータリー活動が理解できる図にしたものです。

ロータリーの2つのモットー（標語）で、超我の奉仕を日本ロータリーの創始者の米山氏は、サービス第一、自己第二や、自己に先立つサービスと訳されました。

また、奉仕する者は最も多く報いるは、最善のサービスをすれば結果として最大の利益が得られると訳すほうが解り易いと思います。

本日例会で唱和した、四つのテストは、1932年にハーバートJ.テラーが倒産の危機にあった調理器具メーカーのクラブ・アルミニウム製品株式会社の再建の為に従業員の日常行動の確認や自己評価の為に作られた極めて現実的な基準です。

真実かどうかは、事実かどうか、みんなに公平かは、すべての取引先に公正か、好意と友情を深めるか

は、信用を高め取引先を増やすか、みんなのためになるかどうかは、すべての取引先に利益をもたらすかと解釈すれば理解しやすい基準となります。

最後に、ロータリーの各種活動で内なる人づくりと外なる人づくりを繰り返すことにより最終的な人づくりがなされる、米山氏は例会は人生の道場、人づくりの修練の場であると言われておりました。

これを理解した上で、他の奉仕活動（青少年奉仕）との明確な区分けが腑に落ちていない状態で、2019年度の活動状況と炉辺談話の内容を報告します。

(1) 活動計画に対し現状は

1. 会員企業の職場体験学習の実施内容を報告。
2019年は会員企業5社で46名の中学生を受入れ対応済み。
2. 会員職業に基づく情報等を卓話で提供する。
9月30日から会員弁護士による卓話シリーズを実施していただきました。
3. 会員の協力を得て地域の小・中学校への出前授業
4. 自己の職種を生かした電子工作教室の開催を検討

上記3、4項については今後も任期中は学校側の事情を確認しながら推進する。

(2) 1月17日炉辺談話について

ロータリーの友の資料室には、職業奉仕について難解な記載がありますが、今年度の職業奉仕の計画内容も、学校生徒を対象にした職場体験学習と出前授業が中心で青少年奉仕とやや重複する内容になり、これ以外で職業奉仕として対応すべき内容についてヒントをいただく為に談話を実施しました。

- ・専門職種を生かしたクラブメンバーやチャーターメンバーの苦労話を卓話でもっと話す機会をふやしてはどうか。
- ・商工会や産業フェアで専門職種を生かした相談コーナーを設け対応する。
- ・地域の企業で見学コースやセミナーを実施している所に訪問し見識を広める。
- ・出前授業や職場体験は子供と接する貴重な機会なので、子供がどう考え何を知りたいかが解れば将来の方向性にも繋がる。また、ロータリアン同士の仕事上での発展も広い意味での職業奉仕と考える。
- ・会社の仕事に熱心に対応し、自分の職業を实践する事。

以上のような意見でした。

残りの任期中、新しい職業奉仕活動も推進したいと考えております。